連合王国との間の協定の附表の修正に関する交換公文◎航空業務に関する日本国とグレート・ブリテン及び北部アイルランド

(略称)英国との航空協定附表修正取極

連合王国側書簡 てーご	附表の修正・ハー五	日本側書簡	月	`				
		日本側書簡	ページ		(外務省告示第一一二号)	昭和四十五年六月 八 日 告示	昭和四十五年五月二十六日(効力発生)	昭和四十五年五月二十六日 東京で

連合王国側書簡

アイル (航空業務に関する日本国とグレ **ルランド** 連 合王国との間の協 ì 定 ١ • 0) 附表 プリテン 立の修 及 Œ に関 CF 北 す

本 側 書簡

二月二十九日 とを提案する光栄を有します。 九百六十九年 に言及し、 ν ート・ブリ 書簡をも 同協定 うつて 六月十七日に修正された。)に次の修 テン及び北部アイル に東京で署名され 啓 上 0 附 5 たします。 表 (千九百六十七年八月二十二日及び千 た航空業務に関 ランド 本大臣 は、 連合王国との間 千 九百 する日本 正を行なうと 五十二年十 ・国とグ この協定

1 営する路線) (5) 浸表の第 П 日 ッ 本国 ヾ <u>у</u> 0 部 内 の 路線4の次に (日本国 地点-アジア内 エ 一の一又は二以上 ۲ 連 次 |邦を除く。)内 0 路線を の協定地 加 0 える 指 0 点 地 Ϊ 定航 点 モ 1 ス 空 ク 企 П

ヮ

ĺ ١,

3 ン

が

ン

1

2 運営 ロする路 表の第 線 部 の路線 連合王国 (3) 0 次に次 0 一又は二以 0 路 線を 〜上の 加える。 指 定航 空 企

(4)

連合王国

一内の地

点

1

3

口

ッ

パ

ŷ

ヴィ

ェ ト

連

邦

を除

の合意を構成 の書簡及びその旨 ランド連合王国政府に 本大臣は、 く。)内の 前記 するもの 地 の閣 点 0 提 1 とみなし、 案 下の返簡を とつて受諾 モ が ス ク 1 クロー ĺ l その合 この ۲ し
う
る アジア内の協定地点― • 問 ブ 意 もの リテン及び北 題 が K 閣 関する両国 であるとき 下の返館 部 は、 アイ 東京 政 0 府 日 付 間 ح ル

心を表 しま

ず。

の

本大臣は、以上を申し進めるに際し、こ日に効力を生ずることを提案する光栄を

ととに

閣下に

向

か

つ

有します。

昭和四十五年五月二十六日に東京で

外務大臣臨時代理

内閣総理大臣 佐藤栄作

日本国駐在連合王国特命全権大使

ジョン・ピルチャー閣下

建合王国側書簡)

側連 書合 簡王 国

の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

書簡をもつて啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次

(雅文)

(United Kingdom Note)

26th of May, 1970.

Your Excellency,

date, which reads as follows: ceipt of Your Excellency's Note of today's I have the honour to acknowledge the re-

- 1. In Section I (Routes to be operated by August 22, 1967 and June 17, 1969: aforementioned Agreement as amended on amendments be made to the Schedule of the 29, 1952, and to propose that the following Air Services signed at Tokyo on December ment between Japan and the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland for "I have the honour to refer to the Agree-
- route shall be added after route (4): the designated airline or airlines of (5) Points in Japan - points in Asia to Japan) of the Schedule, the following Europe except the USSR - London. be agreed - Moscow - points in

日本国外務大臣臨時代理

内閣総理大臣

佐藤栄作閣下

(日本側書簡

ンド連合王国政府にとつて受諾しうるものであり、 本使は、 前記の提案がグレート・ブリテン及び北部アイルラ したがつて、

同政府は、閣下の書簡及びこの返簡がこの問題に関する両国政 に同意する旨を閣下に通報する光栄を有します。 間の合意を構成し、その合意が本日付けで効力を生ずること

府

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かつて敬 ジ ・ピルチャー

ン

意を表します。

千九百七十年五月二十六日

the United Kingdom) of the Schedule, the designated airline or airlines of In Section II (Routes to be operated by

route (3): the following route shall be added after (4) Points in the United Kingdom - points

points in Asia to be agreed - Tokyo. in Europe except the USSR - Moscow -

Your Excellency's reply in that sense shall Great Britain and Northern Ireland, I have the honour to suggest that this Note and the Government of the United Kingdom of If the above proposal is acceptable to

which shall enter into force on the date between the two Governments in this matter of your reply." be regarded as constituting an agreement

shall constitute an agreement between the two therefore agree that your Note and this reply of Great Britain and Northern Ireland who able to the Government of the United Kingdom into force on this day's date. Governments in this matter which shall enter Excellency that the above proposal is accept-In reply, I have the honour to inform Your

highest consideration. tend to Your Excellency the assurance of my I avail myself of this opportunity to ex-

(Signed) John Pilcher

His Excellency Mr. Eisaku Sato, Minister for Foreign Affairs ad Prime Minister of Japan. interim,

(参考)

の附表を修正して、日英双方の路線にそれぞれシベリア経由路線を追加するためのものである。 この取極は、一九五二年の日英航空協定(条約集覧・条約集第一一一三号及び第一八四〇号参照)